

日本地球電気磁気学会会報（第94号）

1982年5月25日

日本地球電気磁気学会

東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル

(財)日本学会事務センター内

電話 03-815-1903

I 第71回 総会ならびに講演会

第71回総会ならびに講演会は、5月11日～13日の3日間、国立極地研究所のお世話により、板橋区立産業文化会館及び国立極地研究所で開催された。今回は極年100年及びIGY25年にあたるため、その記念行事も兼ねて、記念講演会及び記念展示会を12日に極地研究所で行った。記念講演会では、畠山 久尚氏による「ポーラーイヤーと私」、難波 捷吾氏による「電離層研究に関する初期の思い出」、前田 憲一氏による「宇宙科学の歩み」、及び永田 武氏による「IGYよもやま談」の四講演が行われ、満員の聴衆は深い感銘を受けた。また記念展示会には、地磁気観測所、郵政省電波研究所、理化学研究所、東北大学女川地磁気観測所、東大理学部地球物理研究施設、東京天文台、名大空電研、京大理学部、極地研究所、宇宙科学研究所より記念すべき記録、写真、測定器等の出品があり会員諸兄に先人の足跡について思い新たにする機会が与えられた。

特別講演の後、小川会員を議長として、下記の次第で総会が開かれた。（会員総数519、定足数174、出席者数100、委任状105で成立）

- (1) 開会の辞
- (2) 議長選出
- (3) 大会委員長あいさつ（平沢大会委員長）
- (4) 運営委員会報告（河島運営委員及び小林運営委員、Ⅱ項参照）
- (5) 田中館賞授与
第98号 佐藤夏雄会員
準周期的ELF, VLF 帯自然電磁波の研究
- (6) 田中館賞審査報告
- (7) 会長あいさつ（平尾会長）

(8) 議事

(イ) 昭和56年度決算(Ⅲ項参照)

(ロ) 昭和57年度予算(# #)

(ハ) (イ)については本倉委員より説明があり、原案通り承認された。

(ニ) 次期総会・講演会開催地確認

前学会で提案されたとおり、第72回総会及び講演会開催地は秋田大学とし、期日は10月2, 3, 4日の3日間とすることが確認された。

(ヒ) 次々期総会・講演会開催地の提案

北村会員より、第73回総会及び講演会を電気通信大学にお願いしたい旨の提案があった。会長に対して既に電気通信大学芳野教授より引き受ける旨の内諾がきているとの報告がなされた。

(ヘ) 前田(憲)会員より、JGG投稿論文数減少の要因についての質問がなされた。これに対し、力武編集委員長より、いくつかの可能な要因についての説明がなされた。

(9) 謝辞

力武会員より参加者を代表して、今回の総会及び講演会をお世話下さった国立極地研究所の方々に謝辞がのべられた。

(10) 閉会の辞

II 運営委員会報告

(1) 学会々計及び名簿作成

56年度決算及び57年度予算について議論が行なわれた。その結果57年度に学会名簿の作成を行なうことは事実上不可能であり、名簿を作成しなくても次年度繰り越し金をほゞゼロとする予算になることが明らかとなった。早晚会費値上げを実施せざるを得ないであろうということが議論された。

(2) JGG出版社変更

従来学会誌刊行センターで行なっていたJGGの出版をテラ学術図書出版(株)に移してはどうかということが議論された。その結果、海外へのJGGの販路をのばすことができる可能性もあり、特に編集権、Copy right 等に問題がない限りテラ学術図書へ移すという結論になった。そのためこれらの問題を確認の上、編集委員会、運営委員会(総務)が学会誌刊行センター、テラ学術図書出版の責任者と具体的な移行措置を進めることにした。

Ⅲ 昭和56年度決算及び昭和57年度予算

昭和56年度決算

収入の部

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	科 目	予 算 額	決 算 額
会 費	3,030,000	3,100,734	管 理 費	1,850,000	1,860,612
正 会 員	2,565,000	2,534,000	業務委託費	1,500,000	1,476,690
学 生 会 員	285,000	363,500	通 信 費	120,000	199,330
海 外 会 員	180,000	153,234	印 刷 費	10,000	23,340
賛 助 会 員	0	50,000	会 合 費	50,000	55,002
出版助成金	7,663,000	5,660,000	旅 費	160,000	65,200
予稿集売上代	900,000	955,500	雑 費	10,000	41,050
利子収入	220,000	248,895	事 業 費	9,853,000	7,964,827
雑 収 入	10,000	0	分担金	8,063,000	6,060,000
小 計	11,823,000	9,965,129	会誌 発送費	250,000	483,690
前期繰越金	390,920	390,920	会報 印刷費	120,000	130,800
合 計	12,213,920	10,356,049	会報 発送費	120,000	190,780
			大会開催費	700,000	429,557
			予稿集印刷代	600,000	670,000
			予 備 費	100,000	0
			小 計	11,803,000	9,825,439
			次期繰越金	410,920	530,610
			合 計	12,213,920	10,356,049

〔特別会計〕

田中館賞

収入の部		支出の部	
利子収入	3,284.0	賞 碑 費	6,340
前期繰越金	5,759.43	次期繰越金	6,024.43
計	6,087.83	計	6,087.83

長谷川基金

収入の部		支出の部	
利子収入	3,900.3	賞 杯 費	4,960.0
前期繰越金	6,725.96	次期繰越金	6,619.99
計	7,111.599	計	7,111.599

〔基 金〕 3,400,000

Ⅳ 新入会員

第 120 回運営委員会で承認された新入会員は下記の 3 名である。(※印は学生会員)

古尾 純(柏井高) 岩越 朗(神戸大・理) 片尾 浩(神戸大・理)

Ⅴ 第 72 回総会及び講演会

秋の学会は秋田大学のお世話により下記の通り開催されます。

1. 期日 10月2日(土)～4日(月)の三日間
2. 会場 秋田大学
3. 詳細は次回会報(7月15日頃の予定)参照
4. ポスターセッションを希望するグループは6月末までに総務(宇宙科学研究所内, 平尾, 河島, 鶴田)までお知らせ下さい。
5. 賛助会員は予稿集に広告をのせることができます。但し原図は申し込み者が作成するものとする。申し込み期限は8月14日。

Ⅵ JGG投稿宛先変更

JGGへの論文の投稿は下記宛をお願いします。

〒150 東京都渋谷区桜丘町4丁目17
渋谷台ハイム307号室
株式会社テラ学術図書出版 気付
JGG編集委員長 力 武 常 次 あて

Ⅶ 各種研究助成金・奨励金について(応募希望の方は学会総務にご連絡下さい)

1. トヨタ財団 応募〆切 57年5月31日

応募及び申請書類申込先

〒160 東京都新宿区西新宿2丁目1-1
新宿三井ビル37階私書箱236号
(財)トヨタ財団 研究助成係
Tel 03-344-1701

1件50～200万円, 個人又は団体で行なう第一・二種研究及び200～2,000万円/件の第三種研究に対する助成。助成対象となる研究テーマで当学会員に関係のあるものは「交通安全・生活・自然環境領域」である。

2. KDDエンジニアリング・アンド・コンサルティング 応募〆切 57年6月30日

昭和 5 7 年 度 予 算

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
会 費	3,039,000	管 理 費	2,050,000
正 員	2,508,000	業 務 委 託 費	1,650,000
学 生 会 員	323,000	通 信 費	180,000
海 外 会 員	208,000	印 刷 費	10,000
出 版 助 成 金	7,197,000	会 合 費	50,000
予 稿 集 売 上 代	1,050,000	旅 費	150,000
利 子 収 入	220,000	雑 費	10,000
		事 業 費	9,857,000
		分 担 金	7,597,000
		会 誌 発 送 費	500,000
		印 刷 費	100,000
		会 報 発 送 費	160,000
		開 催 費	700,000
		大 会 予 稿 集 印 刷 代	800,000
		予 備 費	100,000
小 計	11,506,000	小 計	12,007,000
前 期 繰 越 金	530,610	次 期 繰 越 金	29,610
合 計	12,036,610	合 計	12,036,610

※ 57年度予算は次年度繰り越し金がほゞ0となります。

応募先

〒160 東京都新宿区西新宿2丁目3番2号 KDDビル内
(財)KDDエンジニアリング・アンド・コンサルティング
Tel 03-347-7925

国際電気通信に関する基礎的又は応用的調査・研究。総額3,000万円程度, 5~7件。

3. 山田財団

自然科学の基礎分野を振興する目的で研究援助, 来日派遣, 集会の援助を行う。

援助名	募集期間
来日(58.4~59.3)	57.4.1~57.11.30
長期派遣(58.4~59.3)	57.4.1~57.11.30
短期派遣	出発月の4カ月前の15日が締切日
学术交流集会(58.4~59.3)	57.4.1~57.9.30
研究援助	57.4.1~57.10.25

詳細は学会総務又は下記へお問い合わせ下さい。

〒544 大阪市生野区巽西1丁目18番1号
ロート製薬(株)内 (財)山田科学振興財団

Ⅶ 物理学会主催「宇宙の物理」講演会案内(当学会も協賛団体に入っています)

期日 1982年7月29日(休)~31日(仕) 東京会場
場所 於日仏会館ホール
東京都千代田区神田駿河台2-3 (03-291-1143)

期日 1982年8月3日(休)~5日(休) 京都会場
場所 於京都会館会議場
京都市左京区岡崎最勝寺町13 (075-771-6051)

聴講料(当学会員1,200円, 学生700円)

内容は第1日目 宇宙の構成, 宇宙の初期における高エネルギー現象

第2日目 銀河系内現象

第3日目 太陽系及び宇宙進化

申し込み先

〒105 東京都港区芝公園3-5-8
機械振興会館211号室
(株)日本物理学会 講習会係 Tel 03-434-2671

〆切 定員になり次第締め切ります。

Ⅹ 人事公募のお知らせ

このたび宇宙科学研究所が下記の様に二名の教官公募を行ないますので広く適任者の推薦・応募をお願い致します。

1. 公募人員 助手1名

2. 所属部門及び内容

太陽系プラズマ研究系，磁気圏電波科学部門。同部門には教授，助教授 鶴田浩一郎が在任中である。科学衛星観測により磁気圏プラズマ物理学の研究を行なうため，新たな観測計器を開発し実験に参加する。

3. 着任時期 決定後なるべく早い時期

4. 必要書類 (1)略歴，(2)研究歴，(3)論文リスト及び主要論文別刷各1部，(4)他薦の場合は推薦書，自薦の場合は本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先。

5. 締切 昭和57年6月10日(休)必着

6. 宛先 宇宙科学研究所 所長 森 大吉郎 〒153 東京都目黒区駒場4-6-1(電話03-467-1111)

7. 問合せ不明の点，及び資料の請求は下記あてに願います。

宇宙科学研究所太陽系プラズマ研究系 大林 辰蔵(電話03-467-1111 内線320)

8. 選考 選考は宇宙科学研究所運営協議員会議で行います。応募者中に適任者がいない場合は決定を保留することがあります。

9. その他 宇宙科学研究所は東京大学宇宙航空研究所が発展的に改組し，1981年4月14日付けで新たに発足した国立大学共同利用機関です。国内における共同研究並びに国際協力に積極的役割を果たす人を希望します。

10. 封筒の表に「助手応募(推薦)書類在中」と明記のこと。

1. 公募人員 助手1名

2. 所属部門及び内容

共通基礎研究系，宇宙空間原子物理学部門。同部門には教授高柳和夫，助教授市川行和(6月1日着任予定)，助手島村勲が在任中。原子分子過程の理論的研究と，その宇宙科学への応用(必要データの収集・評価を含む)に意欲をもつ人を求める。現在までの専門分野は問わない。

3. 着任時期 決定後なるべく早い時期

4. 必要書類 (1)略歴，(2)研究歴，(3)論文リスト及び主要論文別刷各1部，(4)他薦の場合は推薦書，自薦の場合は本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先。

5. 締切 昭和57年8月31日(火)

6. 宛先 宇宙科学研究所 所長 森 大吉郎 〒153 東京都目黒区駒場4-6-1(電話03-467-1111)

7. 問合せ 不明の点、及び資料の請求は下記あてに願います。
 宇宙科学研究所 高柳 和夫 内線 355
8. 選考 選考は宇宙科学研究所運営協議員会議に於て行います。応募者中に適任者がいない場合は決定を保留することがあります。
9. その他 封筒に「助手応募(推薦)書類在中」と朱書して下さい。

X その他

1. 賛助会員の申し込み書式を学会で用意しましたので入用の方は学会総務までご連絡下さい。
2. 現在学生会員であって、昭和57年度も学生会員の継続を望まれる方は6月末日までに学会事務センターあてに下の継続届を提出して下さい。提出されない場合は自動的に正会員費が請求されることとなります。

-----キリトリ線-----

学生会員継続届

氏名 _____ 同ローマ字 _____

所属大学・学部・学科 _____

学年 学部・大学院修士・大学院博士 年 _____

(昭和57年4月からの学年次)

研究テーマ _____

指導教官署名 _____

日 付 _____